

# よした 議会だより



第121号

令和8年4月発行

〒421-0395  
静岡県榛原郡吉田町住吉87  
TEL:0548-33-2141  
吉田町議会  
責任者 議長 増田 剛士

令和8年第1回定例会	2P
一般質問 7人が町政を問う	8P
常任委員会報告	15P
令和7年度議会改革目標評価結果	15P
まちの話題	16P

第19回小山城お花見茶会

# 令和8年第1回吉田町議会定例会 一般会計・特別会計など 令和8年度の当初予算を可決

専決処分1件、当初予算7件、補正予算4件、条例改正6件、条例制定2件、規約変更1件、指定管理2件、町道廃止1件、町道認定1件、人事案件1件の26件を審議し、全ての議案について原案のとおり承認・可決・適任とした。併せて、専決処分報告が2件あった。



令和8年度一般会計歳入・歳出総額 (過去最高額の当初予算)  
**149億8,500万円 (対前年度3,600万円増額)**

## 歳入

### ○固定資産税

**問** 土地分、家屋分、償却資産分のうち、土地分だけが減額である。その理由は。

**答** 課税の評価替えは3年に1度行っている。しかし、毎年見直し、上がっている土地の課税は据え置きに、下がっている土地の課税は下げているためである。

### ○地方交付税

**問** 6年度が、4億6200万円、7年度8億2400万円、8年度11億2700万円。6年度と比べると、2・4倍に増えている。2・4倍になった理由は。

**答** 最近上がり傾向がある。物価高、官工事の価格転嫁への対応で、国が多く見てくれている。普通交付税については、基準財政需要額と基準財政収入額の差について国が措置してくれる。

## ○町債

**問** 町債は、通常分と津波防災対策の2種類に区分されている。町は通常分は償還額以上の借入れは行わないとの規則を設けているが、津波防災対策分には規則がない。8年度予算は対前年度2億7390万円の減額であるが、津波防災対策分で起債することにより将来的に償還額が増える可能性がある。8年度の町債についての考え方は。

**答** 昨年度の質疑の津波対策以外の起債を津波防災対策分に入れていくのではないかとの意見を踏まえて、8年度の津波防災対策分は4億8950万円、防潮堤整備事業のみの起債とした。



## 歳出

### 総務費

### ○シティブロモーション事業費

**問** 食に特化したフォロワー50万人のインフルエンサーを起用して町の魅力を発信すること。その目的は。

**答** 食をテーマに町の魅力を発信し、吉田町を知っていただき、結果としてふるさと納税の増加につながれたらと考えている。当インフルエンサーはフォロワーとの信頼関係が強いことから拡散力に期待している。

**問** 今回募集の地域おこし協力隊のコンセプトは、前回と同じと説明があった。前回の地域おこし協力隊の活動は成功とは言えなかったと考える。今回の地域おこし協力隊に期待することは。

**答** 前回は新型コロナの影響があり、活動が鈍かった。今回は商工会

## 令和8年度主な新規事業

メニュー	説明	金額(万円)
トウカイ <sup>ゼロプラス</sup> TOUKAI-0 <sup>+</sup> の実施	地震による倒壊家屋を減少させるためのこれまでの補助に加え、風害への備えとして、外部補強及び瓦屋根の耐風補修への補助を実施	2,149
町内を走る新しい交通“ぎゅっと”カーの本格運行	路線バスを補完し、気軽に町内の移動を可能にするオンデマンド型乗合タクシーを本格運行	6,658
こども発達支援センターの開設	地域全体の専門的支援を必要とするこどもへの支援の質を向上させるため現在の「こども発達支援事業所」の機能を包含する「こども発達支援センター」を開設	10,873
AI型デジタルドリルの導入	児童生徒の習熟度に応じた「個別最適な学び」の推進と学習データを活用したきめ細やかな指導で基礎学力の定着を実現	733
学校給食費保護者負担軽減の実施(小学校)	国の施策に呼応し、学校給食費の抜本的な負担軽減を実施	7,368
プレミアム付商品券の発行事業	物価高騰による生活支援のため、プレミアム付商品券を発行(プレミアム率100% 70,000セット)	14,735
水道基本料金負担軽減事業	物価高騰の影響を受けている町民に対し、水道料金(基本料金)の2カ月分を減免	3,519

- 問** 青年部や新たな吉田公園の指定管理者らと連携する活動になる。イベントが減少している中で、「頂」や、チュウリップ祭りや、チューベントに取り組んでほしいと考えている。
- 答** 営体制は。場所は2カ所になるが、母子保健や児童福祉に精通した統括支援員を置き、事業を俯瞰して両方の事業を見ることになる。新たに母子手帳をもらった時点からサポートプランを作成し、それぞれの人に合った支援を行っていく。
- 問** どういう形で、どういう人たちにに向けて広報をしていくのか。
- 答** ターゲットと方法は。対象者は65歳以上の高齢者に周知が広くよく考えている。広報よしだとホームページなどで、本人・家族に届くように周知をする。申請には、耳鼻咽喉科の医師の判断が必要になる。
- 問** 4月からRSウイルスワクチンが定期接種になると聞いた。接種する、しないの選択は妊婦さんに委ねられているのか。
- 答** 他の予防接種と同様に、本人に任せている。心配の方は、医師と相談をして決めていただきたい。
- 問** 14施設の中の3施設を整備する。浄化センター・図書館・庁舎の設計委託の内容は。
- 答** 調査の中で、耐用年数・構造などを加味しながら依頼する。
- 問** 児童虐待防止事業費
- 答** 子ども家庭センターは、こども未来課と健康づくり課が協働で運営していくとのことであるが、センターの運営体制は。
- 問** 児童虐待防止事業費
- 答** 児童虐待防止事業費は、こども未来課と健康づくり課が協働で運営していくとのことであるが、センターの運営体制は。
- 問** 地球温暖化防止対策事業費
- 答** 再生可能エネルギー設備導入基本設計および活用調査業務委託
- 問** 農林水産業費
- 答** 農業振興地域整備計画を見直す観点は大規模な見直しは難しいが、青農地の見直しなどを考えている。東名インター付近の開発については、青農地を外すことは難しいが、開発エリアの枠組みとして、町の公共事業でバスターミナル用地整備を行っていく。

## ○担い手育成総合対策事業費

**問** 農業にかかわっていない人達からの発掘を町は考えているか。

**答** 小学校での田植えや市民農園的なこともやっている。意識啓発などしてバックアップしていきたい。

あたって工夫はあるか。

**答** 今回、プレミアム率を10%とし、7万セットを1次で1世帯5セット、2次で10セット販売することや発売時期も前回の7月よりは早くするようなことを商工会と検討中である。

## ○TOUKAIIーゼロプラスについて

**問** 8年度からのTOUKAIIーゼロプラスでは既存建築物減災事業補助金と瓦屋根の耐風改修事業補助金の補助金メニューが増えた。この2つの補助金を同じ工事でもらうことはできるか。

**答** 屋根の耐風改修と耐震工事については別メニューになる。設計の中で切り分けが可能であれば、そこは両方に補助金が出ると聞いている。

**答** 8年度は3件の改修見込みで出している。

**■瓦屋根の耐風改修事業補助金**  
強風による瓦の飛散防止のため、釘や金具での固定などの改修工事に補助する制度。  
令和3年12月31日以前に建築された住宅が対象となる。

互いの総意の中、事業を展開している。

**○感震ブレイカーの設置推進事業補助金**  
**問** 今年度120万円の予算だったのが、来年度は85万円と減少している。予算を減らしたの

**答** 予算上は40件を見込んでいたが今年度12件であった。それに合わせて金額を計上した。

行うことになる。ゆくゆくは学習カルテを作成して、保護者とも共有することができるようしていきたい。

**問** 日常的に個人別に問題が違った時、児童・生徒間で劣等感や優越感が出てくる状態にならないか心配である。それに対する調査、対応は考えているか。

**答** 正確には把握できていないが、気を配りながら進めていく。今回の大きなポイントは、児童・生徒ができたという達成感を持ち、自己肯定感を強めてもらうことにある。

## ○松くい虫防除事業費

**問** 松の木の委託料が8年度は計上されていない。継続して保安林の管理を行い、事故がないようにする必要があると考える。

**答** 保安林等保護環境整備事業委託料285万円のの中に、発注方法など工夫してこれまで以上に事業が実施できるように考えている。

## ○西の宮雨水幹線整備事業費

**問** 今回の設計委託料で整備事業がどのように進んで行くのか。

**答** 西の宮雨水幹線の線系を変えることで、大きな区画を生みだし、商業施設を呼ぶことができるかと考えている。合わせて道路網の設計変更で、浜田地区区画整理事業の工事費の削減が図られる。今回の整備事業はしらさぎ団地東側から成因寺川との合流点までである。

## ○既存建築物減災事業補助金

耐震改修が困難な住宅に対し、部分補強や家具固定などで耐震診断のポイントを0.7以上にし、人的被害を軽減する工事に補助する制度。  
昭和56年5月31日以前に建築された住宅が対象となる。

## ○防潮堤と水防センターの廻りの管理

**答** 防潮堤と水防センターの廻りの管理。側道の廻りの管理を行っている。ごみ拾いや草刈りなどを行い、景観を整えている。委託先とは随意契約になっており、委託している団体の設立目的が町の意向に一致している事から適正と考える。同団体とは毎年、事業の運営について打合せを行い、景観形成含めてお

## ○確かな学力定着事業費

**問** 8年度より導入するデジタル教材Aー型デジタルドリルの特徴および児童・生徒、教職員や保護者のメリットは。

**答** ドリルは児童・生徒が解いた回答をAーが分析し、個々に応じた問題を次に提供する形になり、苦手の克服、基礎学力の確実な定着を図っていく。また、教職員はAーの分析結果をもとに授業設計を

## ○商工業振興費

**問** 前回のプレミアム付商品券発行事業6万セットが2回の販売機会で売れ残り、追加販売した。今回の発行に

**問** 8年度瓦屋根の耐風改修工事はどのくらいを想定しているか。

**問** 8年度瓦屋根の耐風改修工事はどのくらいを想定しているか。



# 特別会計・企業会計予算

特別会計	8年度予算	対前年増減額
土地取得事業	1,575万円	53万円
国民健康保険事業	26億7,156万円	317万円
後期高齢者医療保健事業	4億6,280万円	4,662万円
介護保険事業	24億2,199万円	9,782万円

企業会計	8年度予算	対前年増減額
水道事業	10億0,593万円	△1億3,924万円
公共下水道	18億8,445万円	323万円

※企業会計の予算は収益的支出額と資本的支出額の合計

## 国民健康保険事業

【歳入】

**県支出金・保険者努力支援分**

**問** 8年度予算では、町（保険者）が努力すれば県からお金がもらえる「保険者努力支援分」が対前年度135万8千円減の87万9千円である。その理由は。

**答** 特定健診委託分の管轄が町から県に変わったため、町への支給が大きく減少した。しかし、町の努力に対する取組評価分は「59歳以下の受診率向上」および「薬の重複投与の減少」が評価され増額であった。今後、特定健診率の向上に努める。

## 後期高齢者医療事業

【歳入】

**後期高齢者医療保険料**

**問** 子ども子育て支援金が導入され、その分の加算額について、県内の広域連合で統一して

決定した金額があると思うが、詳細は。

**答** 静岡県後期高齢者医療広域連合において、県内統一して加算する。所得割0・25%、均等割1400円となっている。

## 介護保険事業

【歳出】

**介護サービス等諸費**

**問** 8年度に、第10期（9年～11年）介護保険事業計画を策定すると思うが、その際に推計の精度が重要になると考えるが、その取り組みは。

**答** 3年間の事業計画の策定には、過去の人口推計から介護認定の状況を見て、介護給付費の見込みを立てる。まずは不足することがないように、データを分析して、慎重に進めていく。また国の策定方針も示されるので、長期の状況も見ながら、しっかりと策定していく。

## 公共下水道事業

【企業債】

**設備の更新工事のため**

**問** 設備の更新工事のための企業債が年々増加している。そうなる今後下水道料金など町民の負担が増してくると思われが、今後の取り組みは。

**答** 現在、ストックマネジメント計画に基づいて、今後の更新費用をできるだけ平準化し、先延ばしできるものは先延ばしし、使えるものは手直しをして長く使用することで延命化している。今のところ、施設の更新費用が下水道使用料に跳ね返ることはないと考えている。

## 管路改修工事

**硫化水素の影響**

**問** 硫化水素の影響でコンクリート管が腐食する。そこで、町内の下水道管（管渠）の現状および腐食状況調査の取り組みは。

**答** 町内には84kmの管渠があり、その9割が

硫化水素の影響による腐食に強いとされる塩ビ管である。これまでも、管渠にカメラを入れた腐食調査を行っている。管渠の年数や埋設場所などの重要度などを加味して、施設整備を行っていく。

## 下水道使用料収入

**問** 使用料収入を増やすには、水洗化率を上げていくしかない。9年度からは使用料金の改定が予定されているが、水洗化率の現状と、水洗化率上昇のための今後の取り組みは。

**答** 町内の水洗化率は6年末で78・4%である。水洗化率を上げるために、それぞれの属性を分析し、ターゲットに合ったアプローチで接続を図っていく。



## 令和7年度吉田町一般会計補正予算(第8号)

歳出歳入にそれぞれ1,393万円を追加し、総額173億1,154万円とする。

### 【主な補正】

歳入	県支出金	1,393万円
歳出	衆議院議員選挙費	1,393万円

## 令和7年度吉田町一般会計補正予算(第9号)

歳出歳入にそれぞれ3億2,120万円を減額し、総額169億9,034万円とする。

### 【主な補正】

歳入	国庫支出金	△3,196万円
	県支出金	△9,094万円
	町債	△1億2,910万円
歳出	財政調整基金費	1億2,659万円



### 一般会計補正予算質疑

**問** 今回の補正は減額補正だが、例年になく執行していない額が多いと思うが、なぜか。

**答** 各事業費の額が多いことが挙げられる。用地交渉で相手方と折り合いがつかない、工事についてはその進捗、入札の際には入札によって額が下がるなどがあった。今年度は台風による竜巻災害もあり、全体を大きく見込んだことによる。

### その他の議案

**吉田町上水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定**

**問** 災害時やその他非常な場合に該当する契約を結ぶのか、この条例が成立後町民の対応はどのように変わるのか。

**答** 事前に契約を結ぶ必要はなく、災害後に対応可能な業者を探す必要はない。あらかじめ条例を定めておくことで業者を探すことなく速やかな対応が可能となる。

**吉田町デマンド型乗合タクシーの運行に関する条例の制定**

**問** 乗車の制限で危険物や多量の荷物を持ち込もうとする時の具体的な判断は。

**答** 道路運送法の中に謳っているものである。荷物は何キロと細かく規定していない。

**問** 円滑な運行が妨げられる恐れがあると判断した時、乗車を拒むことは運転手の判断か。

**答** 利用制限の規定に照らし、運転手が判断することになる。

**問** 災害時の給水管の復興の迅速化が図れるが、この情報をいつお知らせするのか。

**答** ホームページに載せるが、この条例の適用や効力を出す時期を考えると特別の扱いを持ってPRすることは考えていない。

**町道の路線認定**

**問** 念佛橋の撤去後の町道の安全対策についてどうか。

**答** ガードレールを設置した。両側のレギュレータに反射材をつけた。ガードレール前面にも反射材をつけた。

## <賛否が分かれた議案>

議案番号	内容	審議結果
第4号議案	吉田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	可決
第18号議案	令和8年度吉田町国民健康保険事業特別会計予算	可決
第19号議案	令和8年度吉田町後期高齢者医療事業特別会計予算	可決
第22号議案	令和8年度吉田町公共下水道事業会計予算	可決

## <審議結果>

議員名 議案番号	大石 裕之	盛 純一郎	楠元由美子	福世 義己	蒔田 昌代	大石 巖	三輪美由紀	平野 積	八木 栄	山内 均	増田 剛士
第4号議案	○	-	○	●	○	●	○	○	○	○	※
第18号議案	○	-	○	●	○	●	○	○	○	○	※
第19号議案	○	-	○	●	○	●	○	○	○	○	※
第22号議案	○	-	○	○	○	○	○	○	○	●	※

○：賛成 ●：反対 -：欠席

※ 法令の定めにより議長に表決権はありません

# 令和8年第1回 吉田町議会臨時会

## 令和7年度吉田町一般会計補正予算(第7号)

歳出歳入にそれぞれ4億2,375万円を追加し、総額172億9,761万円とする。

### 【主な補正】

歳入	地方交付税（普通交付税）	1億7,720万円
	国庫支出金（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金）	1億9,425万円
	町債	5,230万円
歳出	物価高対応子育て応援手当支給事業費	9,060万円
	環境保全費（被災家屋等解体撤去運搬処理事業費補助金他）	1億3,609万円
	大幡川改修事業費	7,480万円
	財政調整基金費	1億1,252万円

### 大幡川改修事業費

問 台風などの水害を受けた方もいる。湧水期に可能な改修距離はどれくらいか。

答 湧水期の施工距離に制限がある。河川幅にもよるが最大両岸40m程可能である。今回は水門と併せて10mの改修となる。

### 環境保全費

問 竜巻被害から4カ月半以上経過し、支払いは来年度となる。被災者の福祉向上のためにもう少し早く対応できないのか。

答 町としても早く対応したかったが、国の制度構築に前例がなかったことから時間がかかってしまった。ないに越したことはないが、次に起こった場合は迅速に対応できると考える。

question

問

自主防災会は防災訓練の実働隊か

answer

答

共助の要、地域住民の生命と安全を守る

各自主防災会が吉田町地域防災計画に記載されている役割をどのくらい理解し、行動できるかについて町の認識を質し、自主防災会の育成強化による地域防災力の向上を目指して質問した。また、自治会未加入の町民の災害支援も質問した。

問 各自主防災会が地域

防災計画で求められる役割や災害時の行動などを理解しているかの町の確認方法は。

答 毎年の防災訓練の計画書や実施報告書を通して確認している。

問 自主防災会は町内会

長で構成されており、町内会長は毎年半数が交代する。地域防災活動の継続性や専門性の蓄積について町はどう考えているか。

答 短期間での役員交代

は専門性が蓄積されにくいことから自主防災会活動が前年の踏襲になりやすい面がある。しかし、多くの方が役員としてかわることで、自主防災会に関する知識を持つ方が増えることはメリットであると考える。

問 自主防災会の体制変

更を考えないか。例えば、地域防災指導員をトップに消防団、ボランティアなどで構成。

答 考えづらい。現状の自主防災会の実行力、能力の向上を図る。

問 自主防災会を地域防

災・共助の要と考えるなら、もつと自主防災会の育成を図る必要があると考える。毎年1

回の自主防災説明会に変えて、年度初めの半年間で自主防災会の役割や行動などをしっかりと講義するとともに意見交換することでの理解を深める会を開催しないか。

答 非常に良いアイデア

と考える。自主防災会の方々と相談しながら検討する。

問 7年4月の自治会加

入率は62・5%で、4割弱の方が自治会未加入である。災害時のその方々の安否確認や避難誘導などの担当は自主防災会か、他か。

答 町の課題と考える。

問 課題と考えているな

ら、いつ町の方針を出す予定か。

答 簡単に解決できるも

のではなく、方針をいつまでにとは答えられない。自治会加入の促進を図っていく。

問 地域防災計画の「自

主防災会の育成」に記載されている「自主防災会の果たすべき役割」と「町の指導及び助成」の項目について、町ができていないと判断している項目は何か。

答 下表の通り。

自主防災会の果たすべき役割

内容	評価
防災知識の啓発	○
防災委員の自主防災会内での活動	○
自主防災地図の作成	
自主防災会の防災計画の作成	
自主防災会の台帳作成	○
防災点検の日の設置	○
避難所の運営体制の整備	
防災訓練の実施	○
地域内の他組織との連携	○

町の指導及び助成

内容	評価
地域防災力の強化と底上げ	○
地域防災指導員の育成	○
自主防災に関する意識の高揚	○
組織活動の促進	
防災公園の活用	○
コミュニティ防災センターの活用	
自主防災会への助成	○
静岡県総合防災アプリの活用	

※ 評価 ○: できているとの町の判断



ひらの つもる 議員

# 町政を問う

answer

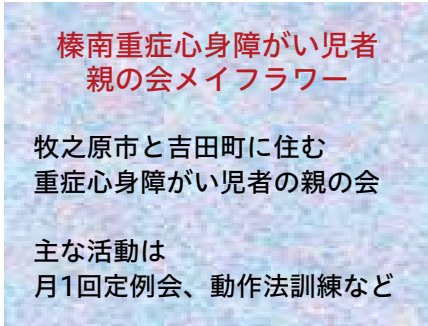
答

question

問

医療的ケア児者等の利用者への対応は  
顔の見える関係と支援体制を整える

医療的ケア児支援法施行で障害者計画には医療的ケア児者や重症心身障害児者支援を明記し医療サービスの充実を図ることを国は求めている。町の医療アクセス確保への具体策、家族への支援策、現行の個別避難計画書の評価を質問した。



主な活動は  
月1回定例会、動作法訓練など

**問** 医療的ケア児支援法に基づき、医療アクセス確保のために町が講じている具体策は。

**答** 町が把握している在宅医療的ケア児者は約10人。遠方医療機関へ継続的に通院する負担

の大きさは、家族など  
と意見交換している。

必要な医療サービス  
をさまざまな機関が連  
携提供し医療的ケア児  
者等の在宅生活支援を  
している。志太榛原圏  
域協議のほか、行政と  
家族会、医療、福祉と  
の連携強化に向けた意  
見交換など引き続き行  
う。医療的ケア児者等  
の日常生活・社会生活  
を地域全体で支援する  
ため、静岡県医療的ケ  
ア児等支援センターと  
も連携し、相談体制の  
充実に努める。

**問** 18歳で「児童福祉」  
から「障害者福祉」へ  
と制度が変わる。切れ  
目ない医療・地域生活  
支援のための支援は。

**答** 特別支援学校2年時  
に学校と福祉課で情報  
共有し今後の進路につ  
いて協議している。相  
談支援専門員と専門部  
会の中で利用計画など  
協議を重ね卒業まで準  
備をする。卒業後は利  
用計画をもとにサービ  
スを利用する。障害福  
祉サービスの連携では  
できる範囲で行われて  
いる。

共生型サービスとは・・・  
「高齢者だけの施設」ではなく「障害のある子ども・大人も一緒に使える施設」を制度的に認め、地域での共生を進めるための枠組み。  
既存の介護事業所が、障害福祉の受け皿になる。

**問** 町内で利用できる施設が  
少ない。共生型  
サービス施設を増やす  
取り組みを強く願うが  
町の考えは。

**答** 町では2カ所利用可能  
であるが、1カ所は  
利用実績がない。まず  
はどのような課題があ  
るのか整理して解決で  
きるか検討していく。

**問** 自主防災会からは要  
配慮支援者名簿を活用  
した防災訓練をモデル  
的に行うことが必要で  
はないかとの意見があ  
るが町の考えは。

**答** 要配慮者の避難計画  
に基づいた訓練は自主  
防災会と協力して是非  
実施をお願いしたい。  
障害のある方と情報共  
有し、いざという時に  
助け合う避難計画を確  
認しよりよいものにし  
ていくよう考える。



くすもと ゆみこ 議員  
楠元由美子

question

問

TCPトリビンスプランの現状は

answer

答

主体的に学ぶ姿勢が身につけてきている



議員 いわお 巖 大石 おお

「TCPトリビンス」は発足から9年。子ども・教職員・保護者、3者共益を目的とし、子供の「確かな学力」を保障する環境づくり、教職員が授業に専念できる環境づくり、保護者が安心して子育てできる環境づくりの現状を質問した。

問 子どもたちの「確かな学力」を保障する環境づくりとしてエアコン完備などの取り組みを進めているが、全国学力・学習状況調査の結果は国・県の平均正答率に至らない。子供たちへの指導や接し方はどう改善されたのか。

「主体的・対話的学び」、「個に応じた見取りと支援」、「表現する力の育成」で、主体的に学ぶ姿勢が徐々に身につけてきている。

「主体的・対話的学び」、「個に応じた見取りと支援」、「表現する力の育成」で、主体的に学ぶ姿勢が徐々に身につけてきている。

長時間勤務の教職員が固定化している傾向があり、公務DXの推進が図れるよう努めていく。

した。

多忙化解消によって子供たちと向き合う時間が増えているか。

合は6年度80・3%から本年度86・6%へと上昇し、着実に高まっている。また、保護者アンケートでも、「子どもが楽しく学校に通っている」との回答が9割であり、その理由として「担任などの教職員との関り」を挙げる声が多く寄せられている。

ターの持ち帰りや家庭での自主学習を支援しており、約9割の保護者から「安心して子育てのサポートが受けられる」との評価がある。

問 教職員が授業に専念できる環境づくりとして、時間外勤務「月45時間以内」を目標としているが現状はどうか。

「物的整備」と公務アシスタントなどの配置による「人的整備」に取り組んできた。

問 多忙化解消によって子供たちと向き合う時間が増えているか。

「物的整備」と公務アシスタントなどの配置による「人的整備」に取り組んできた。

問 教育に費やす時間を持つてないなどの家庭環境を改善する施策は。

「保護者が安心して子育てできる環境づくり」として、放課後・休日の居場所づくり「学校給食実施日の最大化」「相談体制の充実」などに努めてきた。

問 GIGAスクール構想の取り組み状況は。

コンピュターを一つの手段として授業改善を図り、「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実を通じて、子ども一人一人の習熟度や課題に応じて学びを深めるよう取り組んでいる。



# 町政を問う

question

問

統合型ウェブ版ハザードマップの効果は

answer

答

最新の詳細情報を随時掲載できること

8年度一般会計当初予算案が本定例会に提出された。昨年9月の竜巻被害を始めとする自然災害対策や、物価高騰による生活支援など、多種多様な課題の対応を迫られる中での来年度予算となった。そこで町長の施政方針に対し質問した。

て、新たな商業施設や工業集積が進み、産業の活性化に繋がると期待する。

康面の影響や読解力の低下などから、タブレット使用を制限する国が増えてきているが、どう捉えているのか。

統合型ウェブ版ハザードマップ作成について

問 統合型ウェブ版ハザードマップを作成する最大の効果は何か。

答 紙媒体に比べ、修正に係る時間と費用を抑えることができる。またスマートフォンで利用できるので防災訓練や防災教育など多くの場面で活用できる。知りたい場所のより詳細な情報を確認できる事と、最新の情報を随時掲載できることが特に大きな効果である。



ぎゅっととカーのキャッシュレス決済について

問 これから、ぎゅっととカーを町民と共に育てていかなくはならな

いと考える。より一層の使いやすさのために、キャッシュレス決済の導入が必要だと思

うが、その取り組みは。

答 既に運用方法や必要な対応などの協議に入っている。



東名吉田インターチェンジ周辺整備について

問 このバスターミナルが町内の産業や町民に与える効果は。

答 町の玄関口として人の流れを促進し、新たな賑わい創出と交通の利便性向上が図られる。また相乗効果とし

問 ぎゅっととカーの乗り入れは。

答 バスの乗り継ぎのためにぎゅっととカーの乗り入れをする。



子どもたちのタブレット使用の是非についてどう考えているか

問 海外の一部では、健

答 デジタルとアナログのそれぞれの長所を適切に組み合わせる「ハイブリットな学び」の構築が必要である。

児童生徒一人一人の習熟度をAIが分析し、最適な問題を提供する「AI型デジタルドリル」の活用で、基礎学力の確実な定着を図る。

また、情報モラルや情報リテラシーを含む「情報活用能力」を育成し、教育DXをさらに充実していく。



議員 大石 裕之

question

問

公共施設の老朽化率は何パーセントか

answer

答

老朽化率の平均は43・9パーセント

吉田町体育センターの利用停止が報告された。著しい老朽化と雨漏りなどにより、利用者に危険が及ぶ可能性があり、修繕費も高額となることが理由。公共施設が長期にわたり町民に愛用されるよう総合管理計画について質問した。



さかえ 議員  
やぎ 八木

の長寿命化にとって有益と認識することから、適宜修繕をしている。

**問** 長寿命化のために、基本、予防保全型維持管理を実施していくことについてはどうか。

**答** 重要と考える。

**問** 町が保有する公共施設の老朽化率は何%か。

**答** 当町の公共施設の目標耐用年数は、木造50年、非木造80年と設定。

設備や空調設備、給水設備の改修などを随時実施している。

目標耐用年数に対する経過年数の割合の平均で43・9%になる。

**問** 体育センターにおいては、これまでどのような点検や、整備が行われてきたのか。

目的の中で「計画的に公共施設等の整備や維持管理を行う」とあるが具体的にどのようなことを行なっているのか。

日常点検では、毎日の館内清掃に合わせ各施設の目視による外観確認。消防法に基づく作動点検と各機器の点検を行うほか。施設の修繕や整備を実施した。



吉田町体育センター

必要な点検と診断を継続的に行った結果に応じたメンテナンスを実施することは、施設

**問** 高額な修繕費が必要とならないために、町はどう考えるか。

財政負担の軽減を図り、持続可能な行政サービスを提供していくために、引き続き、施設の長寿命化を図るとともに、老朽化の状況や、利用状況などにより、必要に応じて統廃合も含めた公共施設の在り方について検討する。

**問** 町が保有する公共施設の管理について、今後どのように進めていくのか。

**答** 財政負担の軽減を図り、持続可能な行政サービスを提供していくために、引き続き、施設の長寿命化を図るとともに、老朽化の状況や、利用状況などにより、必要に応じて統廃合も含めた公共施設の在り方について検討する。

※予防保全  
計画的に保全や改修を行う保全型

※事後保全  
損傷などが発生した後に修繕を行う保全型

各種消耗部品の交換、屋根などの防水改修や外壁改修、受変電

必要な点検と診断を継続的に行った結果に応じたメンテナンスを実施することは、施設

# 町政を問う

question

問

空家対策推進のための職員の体制は

answer

答

職員間の横のつながりでも対応する

産業建設常任委員会では、5年6月から7年3月まで「空家対策の推進について」先進地である、富士市、藤枝市、掛川市、袋井市を視察した。空家の調査方法と数、空家対策の推進のための職員体制、民間との連携などを質問した。

**問** 空家対策推進のための

職員の体制について

は、富士市5人、掛川市7人、藤枝市3人、袋井市3人が対応している。町も専属の空家管理体制を整える必要があると思うが、町の考えは。

**答** 本町では、専属で空

家対策に従事している職員はいないが、3人の職員が空家対策に携わっている。

しかしながら、縦割りではなく、横につながり、情報を共有して、しっかりと連携を

とってやっていく。

**問** 空家の調査方法と数

について、富士市、掛川市、藤枝市では水道の視点から、水道使用量、水道の閉栓情報などからも空家の調査をしている。電気使用料の確認も情報の取得には有効な手段である。情報取得について町の考えは。

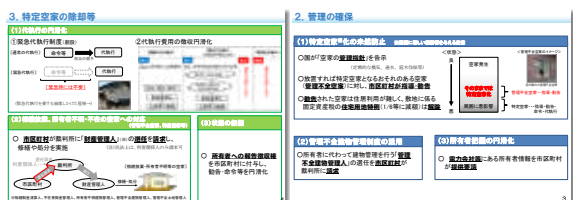
**答** 水道の使用料などか

らの情報取得については、すでに水道の閉栓に関する情報を基に、空家などの可能性があ

る箇所の調査を進めている。

**問** 空家対策について

は、民間の力を最大限



出典：国土交通省

活用すべきと思うが、町の考えは。

**答** 現時点では空家対策

を継続的かつ公益的な立場で担うNPOは存在しないが、空家対策特措法の中で、町が指定したNPOについては情報を共有できることになっている。もし町内に、空家対策に関するNPOができた場合には、団体がしっかりしたものか審査も必要になるかもしれないが、そういったものについては、ぜひとも協力させていただければと思っています。

**問** 空家対策補助金制度

について、富士市には富士市空家利活用支援

**答** 空家などの除却や改

修に関する制度については、適正管理や地域の住環境向上、さらには防災・防犯の観点からも今後必要になると認識している。また、近隣自治体では、中心地の空家を対象として、移住促進に主眼を置いた補助金を交付している事例もあると聞いている。



議員 ひとし うち内 山

# 町政を問う

question

問

本の団体貸し出し利用カードの見直しは

answer

答

内容について見直しをしていく

2月に開催された町政連絡会において「吉田町子ども読書活動推進計画(案)」について説明があった。吉田町教育大綱の【基本方針1】「生きる力の育成を目指す学校教育の推進を掲げている。読書活動の推進について質問をした。

**問** 町は子どもの読書活動の推進や家庭における子どもの読書活動の推進をどのように考えているか。

**答** 生活の中に定着していくことを基本目標としている。年齢が上がるとなると読書習慣を根付かせるためには、低学年から本に触れることが大切である。家庭や保育園・幼稚園は、子どもの読書活動の推進において非常に重要な場となっている。家庭は、子どもが初めに本

と出会い、読書活動の基礎を作る場となる。読書の意義や読書を通じた親子間の絆づくりの重要性について、乳幼児のいる家庭に伝えながら、読書に親しむ環境づくりに取り組んでいく。

**問** 読書活動を推進していく中で、親が子どもの本選びについて相談するには。

**答** 町立図書館のレファレンスコーナーがある。常駐ではないが、県子ども読書アドバイザーの認定を受けた方がいる。窓口となり、アドバイザーについて相談することができる。

**問** 町立図書館のレファレンスコーナーがある。常駐ではないが、県子ども読書アドバイザーの認定を受けた方がいる。窓口となり、アドバイザーについて相談することができる。

**問** 小学校・中学校における子ども読書活動の推進について、7か月児健診時にブックスタートを行っている。ファーストブックの配本後はどう支援をしているか。

**答** 支援は特にしていないが、ブックスタートは時間がないなかで、

**問** 小学校・中学校における子ども読書活動の推進について、7か月児健診時にブックスタートを行っている。ファーストブックの配本後はどう支援をしているか。

**答** 支援は特にしていないが、ブックスタートは時間がないなかで、

ける子どもの読書活動の推進のための取り組みは。

**答** 各校において週1〜2回程度の朝読書や読み聞かせを実施し、読書に向かう日常的なリズムを整える。図書委員会や教職員による本の紹介などで、児童生徒が本と出会う機会の拡充を図っている。

**問** 町立図書館では町内の学校や施設、読書活動を行う団体などを対象に、多くの本を長期間貸し出す団体利用貸し出しを行っている。

**答** 町立図書館では町内の学校や施設、読書活動を行う団体などを対象に、多くの本を長期間貸し出す団体利用貸し出しを行っている。

**問** 町立図書館では町内の学校や施設、読書活動を行う団体などを対象に、多くの本を長期間貸し出す団体利用貸し出しを行っている。

**答** 町立図書館では町内の学校や施設、読書活動を行う団体などを対象に、多くの本を長期間貸し出す団体利用貸し出しを行っている。

**問** 町立図書館では町内の学校や施設、読書活動を行う団体などを対象に、多くの本を長期間貸し出す団体利用貸し出しを行っている。

**答** 町立図書館では町内の学校や施設、読書活動を行う団体などを対象に、多くの本を長期間貸し出す団体利用貸し出しを行っている。

**問** 町立図書館では町内の学校や施設、読書活動を行う団体などを対象に、多くの本を長期間貸し出す団体利用貸し出しを行っている。

**答** 町立図書館では町内の学校や施設、読書活動を行う団体などを対象に、多くの本を長期間貸し出す団体利用貸し出しを行っている。



議員 代 昌 田 まさよ 時 田 まさよ



# 総務文教常任委員会報告



報告書はこちら

## 調査事項

# 避難所運営マニュアルの作成について

- 1 調査の目的  
7年3月の町長の施政方針において、20カ所の指定避難所についてそれぞれの地域特性を生かした避難所運営マニュアルを作成することが示された。それを受け、7年度は避難所運営マニュアル作成のためのワーキンググループを設け、各地域の状況や参加者の意見・要望、創意工夫などを聴取する予定である。  
そこでワーキンググループ作成の目的、その議題、運営方法などを分析し、委員会より提言を行い、より良き避難所運営マニュアル作成に寄与すべく調査・研究する。
  - 2 調査の経緯  
7年6月6日から8年3月6日まで9回の委員会を開催した。この間、担当課に対して3回の質疑応答を行った。
  - 3 まとめ  
(1) いくつか分からない
- 地震津波災害に備えての避難所運営マニュアル策定であるとしたらもっとスピード感を持って進めてほしい。
- (2) 避難所運営マニュアル策定のためのワーキンググループの役割説明が不十分。
- (3) 避難所運営マニュアルの内容については、ワーキンググループならではの地域特性も考慮し、外国人や障害を持つ方、高齢者の方、女性や子どもたちなど、多様な方々に配慮したものにしてほしい。
- (4) 自主防災会は毎年改編されることから、避難所の運営にあたっては、いつ、だれもが活用できるよう町民に対して、綿密な教育スキームを示すべきと考える。

委員長 八木 栄

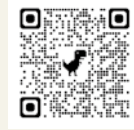
## 令和7年度 議会改革の目標に対する評価結果

目標	取組目標	評価	評価理由
町民意見の反映	多様で幅広い層の町民意見を議会活動に反映できるよう、広聴や意見聴取の新たな方法を検討し、実施する。	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>議会報告会を実施し、町民からの意見聴取ができた。</li> <li>出前会議の改善を試みているが、要綱等の改正には至らず、新たな広聴や意見聴取の方法に取り組むことまでには至らなかった。</li> </ul>
議会審議の充実	より良い議案審議を行うため、全議員が必ず質疑を行う。	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>全員が質疑を行ったが、発言者に偏りがあった。</li> </ul>
議会DXの推進	議案審議の活性化および議会の見える化のために議会DXを推進する。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別委員会での調査・研究を行っている。</li> <li>Wi-Fi設置のための予算化が図られた。</li> <li>メールでの資料配布やグループLINEによる情報共有を行った。</li> </ul>

※評価基準は『設定以上にできた ⇒ ◎ 設定どおりにできた ⇒ ○ 設定には足りなかった ⇒ △ 出来なかった ⇒ ×』

## 第2回定例会（6月）のご案内

令和8年第2回吉田町議会定例会は6月1日（月）から開催予定です。  
傍聴はどなたでもできます。当日に4階議会事務局にて受付を済ましてから  
5階傍聴席にご入場ください。お待ちしております。 問い合わせ先 議会事務局 33-2141



傍聴の仕方は  
こちらへ

## まちの話題



1月11日（日） 学習ホール  
吉田町はたちの集い



1月18日（日） 吉田町内  
吉田町駅伝大会



2月15日（日） 吉田町総合体育館  
第2回 よしだっ子フェス



3月15日（日） 片岡会館  
ワールドフェスタ2026inYoshida



3月22日（日） 海浜回廊（川尻防潮堤緑道）  
緑道を彩る菜の花やツルコザクラ

### 議会広報特別委員会

委員長 楠元由美子 副委員長 蒔田 昌代  
委員 大石 裕之 平野 積 八木 栄 山内 均

※本紙に記載している数値につきましては、一部千円以下を切り捨てして万円単位で表記しています。